



2026 年第 9 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・東京 大会開催概要

スペシャルオリンピックスでは、オリンピックと同様に 4 年毎に夏季・冬季の世界大会を開催しています。「2026 年第 9 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム」では 9 競技を実施し、全国 47 地区組織が参加します。また、翌年 2027 年にチリ共和国で開催される世界大会への日本選手団選考を兼ねて開催します。

- 大会名称：2026 年第 9 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・東京
略 称：スペシャルオリンピックス 2026 東京

- 開催日程：2026 年 6 月 5 日(金) - 7 日(日) ※ 屋外競技中心
2026 年 9 月 4 日(金) - 6 日(日) ※ 屋内競技中心

競技前日：会場設営・選手団入り
競技 1 日目：競技予選(ディビジョニング)
競技 2 日目：競技決勝 / 表彰

- 開催地：東京都

- 予定参加数：47 都道府県の地区組織
 - アスリート / 約 1,200 名 - パートナー / 約 100 名
 - 役員・コーチ / 約 750 名
 - 大会役員・審判等 / 約 750 名 - ボランティア / 延べ 約 3,250 名
 - 観客 / 延べ 約 15,000 名

- 実施競技/会場：9 競技

競技	会場(案)	日程(案)
バスケットボール(US)	TOYOTA ARENA TOKYO	'26年 6月5日(金) - 7日(日)
バドミントン	BumB東京スポーツ文化館 - メインアリーナ	'26年 6月5日(金) - 7日(日)
テニス	有明テニスの森公園 - テニスコート	'26年 6月5日(金) - 7日(日)
陸上競技	駒沢オリンピック公園総合運動場 - 陸上競技場	'26年 6月5日(金) - 7日(日)
サッカー	駒沢オリンピック公園総合運動場 - 第二球技場	'26年 6月5日(金) - 7日(日)
卓球	駒沢オリンピック公園総合運動場 - 屋内球技場	'26年 6月5日(金) - 7日(日)
フライングディスク	駒沢オリンピック公園総合運動場 - 補助競技場	'26年 6月5日(金) - 7日(日)
バスケットボール(TR)	京王アリーナTOKYO - メインアリーナ	'26年 9月4日(金) - 6日(日)
競泳	京王アリーナTOKYO - プール	'26年 9月4日(金) - 6日(日)
ボウリング	東京ポートボウル	'26年 9月4日(金) - 6日(日)
開会式	TOYOTA ARENA TOKYO	'26年 6月5日(金)
HAP	TOYOTA ARENA TOKYO - サブアリーナ	'26年 6月5日(金)

※ TR=トラディショナル US=ユニファイドスポーツ

- 予定事業：開会式、閉会式、ヘルシー・アスリート・プログラム(健康診断) 等
- 主催：公益財団法人スペシャルオリンピックス日本



- 後 援： スポーツ庁、厚生労働省、東京都、港区、港区教育委員会、江東区、世田谷区、世田谷区教育委員会、調布市、調布市教育委員会、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本パラスポーツ協会、公益財団法人笹川スポーツ財団、公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本歯科医師会、一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会、公益財団法人東京都スポーツ協会、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、公益財団法人日本陸上競技連盟、公益財団法人日本バドミントン協会、公益財団法人日本バスケットボール協会、公益財団法人 JAPAN BOWLING、公益財団法人日本水泳連盟、公益財団法人日本卓球協会、公益財団法人日本卓球協会、公益財団法人日本テニス協会、一般社団法人日本フライングディスク協会、東京都耳鼻咽喉科医会、一般社団法人日本言語聴覚士協会、一般社団法人東京都言語聴覚士会（2026 年 4 月末時点）

■ スペシャルオリンピックスとは

スペシャルオリンピックス日本(SON)は、知的障害のある人たちにスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。スペシャルオリンピックス日本は、スペシャルオリンピックス国際本部より国内本部組織として認証を受け、日本国内での活動を推進しています。

■ スペシャルオリンピックス日本ナショナルゲーム過去大会一覧

開催年	開催地	競技数	参加地区数	参加者数
1995 年	熊本	5 競技		アスリート 137 名/コーチ他 64 名
1996 年	宮城 福岡	1 競技		アスリート 34 名/コーチ他 17 名
		2 競技		アスリート 45 名/コーチ他 21 名
1998 年	神奈川	8 競技		アスリート 194 名/コーチ他 134 名
2000 年	長野	3 競技		アスリート 121 名/コーチ他 81 名
2002 年	東京	11 競技	21 地区/2 設準 ※海外 4 カ国	アスリート 816 名/コーチ他 546 名
2004 年	長野	7 競技		アスリート 620 名/コーチ他 393 名
2006 年	熊本	12 競技	32 地区/8 設準	アスリート 1016 名/コーチ他 560 名
2008 年	山形	7 競技	29 地区/3 設準	アスリート 533 名/コーチ他 330 名
2010 年	大阪	12 競技	38 地区/8 設準	アスリート 1042 名/コーチ他 591 名
2012 年	福島	7 競技	31 地区/2 設準	アスリート 574 名/コーチ他 320 名
2014 年	福岡	12 競技	42 地区/5 設準	アスリート 975 名/コーチ他 593 名
2016 年	新潟	7 競技	31 地区	アスリート 614 名/コーチ他 329 名
2018 年	愛知	13 競技	47 地区	アスリート 996 名/コーチ他 606
2020 年	北海道	7 競技	37 地区	アスリート 616 名/コーチ他 341 名 ※中止
2022 年	広島	12 競技	47 地区	アスリート 787 名/パートナー39 名/コーチ他 482 名
2024 年	長野 北海道	8 競技	33 地区	アスリート 474 名/パートナー26 名/コーチ他 286 名

※設準…設立準備委員会のこと ※2020 年大会は新型コロナウイルスの影響により中止

■ スペシャルオリンピックス日本 パートナー企業・団体

